

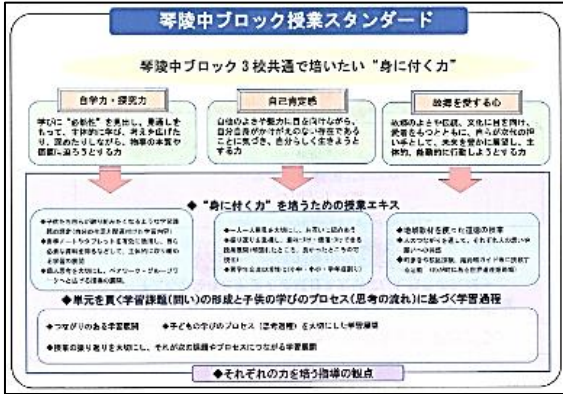
ふれあい つながり かわら版

つながりのある系統的な授業を目指して —城西小学校(琴陵中ブロック合同研修会)—

十二月二日(金)に城西小学校にて琴陵中ブロックの合同研修会が行われました。ブランドカリキュラムに基づいた実践を城西小学校の先生方が授業公開され、その後、小中一貫教育の日常化に向けての話し合いと令和四年度の全国学力・学習状況調査の分析結果の報告と検討が行われました。



小中一貫教育の日常化に向けて



公開授業は、特別なことを実践するのではなく、普段の授業の中にブランドカリキュラムをどのように位置づけているか意識し、中学校ブロックの先生方で共通理解する内容でした。

事後の話し合いでは、琴陵中ブロック3校共通で培いたい「身につく力」を普段の授業の中にとどの

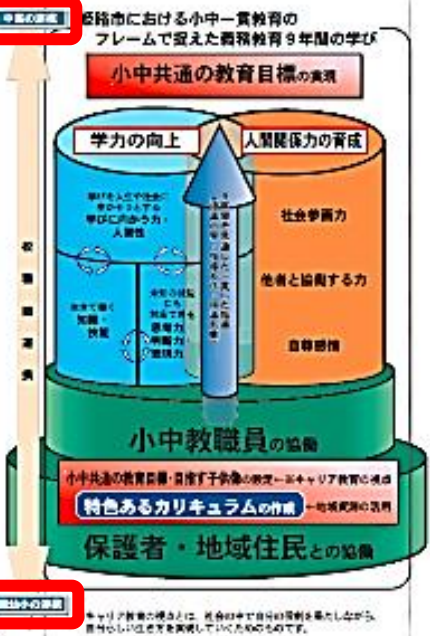
姫路市教育委員会
学校指導課
小中一貫教育・ICT教育推進係
(079)221-2120



ように位置付けるかを中心に話し合いが進みました。全国学力・学習状況調査についての話し合いでは、質的な実態把握とともに、

義務教育9年間の学びを次のステップへ

具体的な数値を共通理解することで、小中の教職員が自身の授業づくりについて見詰め直し、授業改善を同一歩調で進めていくことが確認されました。現在、姫路市教育委員会事務局でも全国学力・学習状況調査と姫路市教職員・児童生徒意識調査の結果分析を行い、来年度に向けて会議を重ねています。各中学校ブロックにおいても、今年度の取組の見直しと来年度の計画を立てる際には、調査結果データの有効活用をお願いします。



平成二十三年に小中一貫教育が全市展開されてから十年以上経過し、「小学校と中学校の接続は円滑になった。」ととらえている先生方の割合は高まっています。また、第二回の担当者会で実践発表を行った鹿谷中ブロックの取組の一つに、前之庄小学校と夢前高校

SDGs 野里小学校×賢明女子学院

十二月二十二日(木)に野里小学校にて、賢明女子学院中学校・高等学校生徒によるSDGsの出前授業がありました。生徒の中には野里小学校の卒業生もいて、「こんな中学生・高校生になりたい。」と小学生があこがれをもつきっかけになりました。「中高生でも世界中の困っている人となることができると。小学生のみなさんにもできることがある。解決できないか」と思い込み何もしないというのはダメ。」と力強いメッセージを野里小学校の五年生は受け取っていました。また小学生からは、「3月に野里の校区の清掃活動をするので、一緒にやりませんか。」と小・高連携の提案がありました。



小中一貫教育・ICT教育推進係では、校種間連携等の特色ある取組を募集しています。みなさまからの情報をお待ちしています。

English 高岡西小学校×琴丘高等学校

十二月十九日(月)に高岡西小学校にて、琴丘高校国際文化科一年生による英語の出前授業がありました。五、六年生が体育館に集まり、高校生による英語劇を鑑賞したり、グループに分かれてゲーム形式で高校生と小学生で英会話のやり取りをしたり、全員でシングルベルを英語で歌ったりしました。小学生は英語を身近に感じ、高校生も普段の学びを伝える充実した活動となりました。